

The Symphony Hall プラチナコンサート  
世界の巨匠とともに 2023



CZECH PHILHARMONIC

# チェコ・フィルハーモニー 管弦楽団 大阪公演

チェロパブロ・フェランデス

指揮 セシモン・ボンジュフ



PROGRAM

ドヴォルザーク：

「オテロ」序曲 op.93

チェロ協奏曲 口短調 op.104

交響曲 第8番 卜長調 op.88

© Petr Kadec

2023 11.3 (金・祝) 15:00開演 (14:00開場)  
S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円 (税込)

ザ・シンフォニーホール

主催：ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (休曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

プレイガイド ■ e+(イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall> (パンコン・旗布) ■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall> [Lコード:56729]  
■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード:239-116]

\*楽観学院のご入場はご連絡いただいております。\*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。  
\*公演中止・延期の届出を兼ねて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

「世界の巨匠とともに」シリーズ  
全3公演セット券もございます。  
詳しくは専用サイトでご確認ください。



助成：文化庁 文化庁 劇場・音楽堂等の  
子供鑑賞体験支援事業  
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

コロナ禍を経て、ドヴォルザークの遺産 名門チェコ・フィル、4年ぶりの来日が実現!!

# チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

東ヨーロッパ随一の伝統と実力を誇る、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団。第1回演奏会をドヴォルザークが指揮し、その後、ターリッヒ、クーベリック、アンチェル、ノイマンら、チェコの名指揮者たちが歴史を築いてきた。名門チェコ・フィルが、チェコの名匠、ピエロフラヴァエックの急逝のあと、新たな首席指揮者に選んだのは、パリ管弦楽団やケルン放送交響楽団など世界的なオーケストラのシェフを歴任した、情熱のマエストロ、セミヨン・ビシュコフ。今回は、チェコ・フィルが十八番とするドヴォルザークの作品のみによるプログラムが予定されている。ボヘミア色に彩られた交響曲第8番では、チェコ・フィルの音色が堪能できるであろう。チェロ協奏曲で独奏を務めるのは、ムターに才能を見出された、スペイン出身の気鋭のチェリスト、パブロ・フェランダス。(文・山田治生)



## 〈指揮〉セミヨン・ビシュコフ Semyon Bychkov, Conductor

1952年レニングラード生まれ。1975年アメリカに移住し、1980年代半ばよりヨーロッパをベースに活躍している。ソヴィエト連邦を離れてから14年後の1989年彼は母国に戻り、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者に就任。同年、パリ管弦楽団の音楽監督に就任した。また、その数年前からニューヨーク・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管などの楽団で活躍し、国際的なキャリアが活発になった。1997年にはケルン放送交響楽団の首席指揮者、1998年にはドレスデン国立歌劇場の首席指揮者に就任。2018年10月、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者・音楽監督としての任期をスタートさせた。

## 〈チェロ〉パブロ・フェランダス Pablo Ferrández, Cello

1991年、スペインのマドリッド生まれ。13歳でマドリッドのソフィア王妃高等音楽院に入学、その後、ドイツのクロンベルク・アカデミーでフランス・ヘルメルソンに師事。2008年オーストリア、リーツェン国際コンクール優勝、2013年バウロ国際チェロ・コンクール準優勝、2015年にはチャイコフスキー国際コンクールに入賞。近年共演したオーケストラでは、バイエルン放送交響楽団、バンベルク交響楽団、ロンドン・フィル、イスラエル・フィル、ウィーン響などが挙げられる。リサイタルや室内楽では、ワディム・レービン、マルタ・アルゲリッチ、ギドン・クレーメルらと共演を重ねている。使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス1696年製「ロード・アイレスフォード」。



## 〈管弦楽〉チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 Czech Philharmonic

創設127年のチェコ・フィルハーモニー管弦楽団は、1896年1月4日に有名なルドルフィヌムでの創立公演でオールドヴォルザーク・プログラムを演奏したが、指揮をしたのは作曲者自身であった。チェコ・フィルは、祖国の作曲家の音楽の解釈において絶対的な信頼を得ていると同時に、ブラームス、チャイコフスキー、そしてマーラーの音楽との深い関係性が知られている。チェコ・フィルの誇り高き歴史は、ヨーロッパの中心に本拠地を構える地域性と、チェコ共和国の不安定な政治の歴史を反映しており、スメタナの「わが祖国」が、強力なシンボルとなっている。1945年、首席指揮者のラファエル・クーベリックが、チェコスロヴァキアの解放に感謝を捧げる公演で同曲を指揮した。



## The Symphony Hall プラチナコンサート

# 世界の巨匠とともに 2023

プラチナセット券

75,000円 税込  
全3公演通し券  
3公演すべて同じお座席でお楽しみいただけます!

Vol. 1 チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 大阪公演

2023. 10/21 (土) 15:00開演  
【指揮】パーヴォ・ヤルヴィ  
【ピアノ】ブルース・リウ

Vol. 2 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2023. 11/3 (金・祝) 15:00開演  
【指揮】セミヨン・ビシュコフ  
【チェロ】パブロ・フェランダス

Vol. 3 NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2023. 11/22 (水) 19:00開演  
【指揮】アラン・ギルバート  
【ピアノ】反田恭平

ザ・シンフォニーホール

プラチナセット券は、ザ・シンフォニー チケットセンターでのみ  
お取り扱いします。他のプレイガイドでの販売はございません。



チケットについて  
のご案内はこちらから